

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 御嶽山国定公園指定推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 自然公園係 電話番号：058-272-1111(内2927)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,942 千円 (前年度予算額：14,425 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,425	0	0	0	0	0	0	0	14,425
要求額	13,942	0	0	0	0	0	0	0	13,942
決定額	12,742	0	0	0	0	0	0	0	12,742

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

環境省が令和4年6月14日に公表した国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地として、御嶽山が国定公園の新規指定候補地に選定され、長野県と連携して国定公園の指定に向けた取組みを進めることとなった。

国定公園の指定については、県が公園指定書及び公園計画書の案を作成して、国に申出を行う必要があり、その案を作成するため、長野県との委託業務の共同発注や関係機関との調整が必要となる。

(2) 事業内容

- 御嶽山国定公園(仮称)公園指定書及び公園計画書の作成等
- ・長野県と共同で、公園指定書及び公園計画書の素案を作成する。
 - ・県協議会、両県協議会の運営や機運醸成等の取組みを実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国定公園の公園計画は、県が策定し今後の方針を決めていくものである。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	協議会報償費
旅費	727	協議会旅費、業務旅費
需用費	183	消耗品費、燃料費
委託料	3,200	機運醸成の取組
負担金	9,735	公園指定書及び公園計画書(素案)の作成
使用料	55	公用車E T C
合計	13,942	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 国・他県の状況

長野県：岐阜県と同時進行で取り組む必要がある。

(3) 後年度の財政負担

引き続き、県が負担する。

御嶽山の国定公園指定に向け、継続的に取り組む必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県

県からの申出により国が国定公園指定の審議を行うため、長野県と共同で「公園指定書(案)」及び「公園計画書(案)」を作成し、国へ申出する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和7年度までに国定公園に指定されるよう、公園指定書（案）と公園計画書（案）を長野県や関連団体と調整したうえで作成し、令和6年度中に国に指定の申出を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

国が国定公園に指定するための指定資料と公園計画書を作成するための事業であり、指標の設定をする事業ではない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	御嶽山県立自然公園事前調査業務により既存の県立自然公園の現況把握を行った。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	標高3,000mを超える山岳で現在唯一国立・国定公園に指定されていない地域であり、国定公園として保護、管理及び利用していくことが望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	県立自然公園の国定公園化については、近年の社会情勢の変化から必要な取り組みではあるものの、地元の理解を得ることが取り組みの効率をあげることとなる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 国定公園と既存の県立自然公園の規制について、異なる点等を関係者へ丁寧に説明することが必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和12年(2030年)までに、世界の陸域及び海域の30%を保護地域として保全していくことが国際的な目標(30 by 30)として掲げられている。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	なし
組み合わせる理由 や期待する効果 など	